

緑茶摂取と頭頸部・食道がんの関連

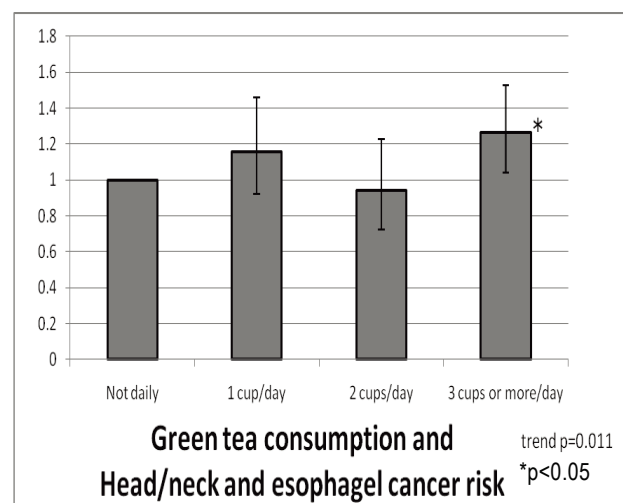
尾瀬 功* 松尾 恵太郎 細野 覚代 渡邊 美貴
伊藤 秀美 田島 和雄 田中 英夫

ラテンアメリカでのマテ茶や日本での茶がゆ等の熱い飲食物は頭頸部・食道がんのリスクを上昇させると考えられている。緑茶は日本で摂取されている代表的な熱い飲料であるが、頭頸部・食道がんリスクとの関連は必ずしも明らかではない。今回我々は緑茶摂取と頭頸部・食道がんの関連を検討するために症例対照研究を行った。

対象は2001年1月から2005年12月の間に愛知県がんセンターを受診した961名の頭頸部・食道がん患者（頭頸部がん527名、食道がん434名）および年齢、性別を一致させた2883名の非がん対照者とした。緑茶摂取やその他生活習慣に関する情報は自記式質問票を用いて収集した。緑茶摂取と頭頸部・食道がんの関連は conditional logistic regression model で算出したオッズ比と95%信頼区間を用いて評価した。

緑茶摂取と頭頸部・食道がんは全体として有意な関連を示した（傾向性 $p=0.011$ ）。1日3杯以上摂取する群においてオッズ比は1.26（95%信頼区間:1.04–1.53）であった。これら関連は特に頭頸部がんにおいて明らかであった。また非飲酒者では有意な関連が見られた一方で、飲酒者においては同様の傾向を示したものの、有意ではなかった。

緑茶摂取と頭頸部・食道がんとの間に正の関連がみられた。更なる疫学的、または生物学的な研究を推進することが必要と考えられる。



*愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部
〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿 1-1